

事務事業評価シート

事務事業コード	004000	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	若者定住促進事業		所属名	企画推進部 政策企画課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策 施策	02 1201	安心して子どもを産み育てられるまちづくり 結婚・出産・子育て支援		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市新たな出会い支援事業 補助金、鳥取市若者定住促進 事業補助金、「すごい!鳥取市」 婚活サポートセンター
目標の 施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	補助金交付 一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	若者定住促進事業費		予算事業コード	01-02-01-07-01-09	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市内に在住・在勤の結婚を希望する者 (平成31年3月より、対象に麒麟のまち圏域の各町を加えている。)
意図 (どのような状態 にするために)	結婚を希望する者を対象に、出会いから結婚までフォローアップ等を行うことで、結婚による定住を促進し、地域の人口増加を図る。
手段 (どうするのか)	参加しやすい婚活イベントを実施しながら、自己啓発セミナー、相談会等の支援を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 該当事業への補助金の交付	平成29年度 運営方法の見直しの実施 婚活イベントの実施	平成30年度 婚活イベントの実施	平成31年度 婚活イベントの実施	令和2年度 婚活イベントの実施
	年度別実績	婚活サポートセンター運営補助1件、新たな出会い支援事業0件、若者定住促進事業2件	従前補助事業として実施していたが、委託事業に切り替えを行った委託先業者については、プロポーザルにより選定した。 婚活イベントの回数 年間48回実施	婚活イベントの回数 年間48回実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	12,468	14,383	11,649	0	0
	直接経費 A	11,746	13,651	10,200	0	0
	国・県	3,322	7,344	5,100	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,424	6,307	5,100	0	0	
人件費 B	722	732	1,449	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.20	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		(KPI)成婚数	組	目標	15	30	45	60	60	
			実績	8	11	15	0	0		
		(指標の説明) すごい!鳥取市婚活サポートセンターによる出会いから結婚に至った組数(累計)。								
	2	目標	0	0	0	0	0			
		実績	0	0	0	0	0			
	(指標の説明)									
3	目標	0	0	0	0	0				
	実績	0	0	0	0	0				
	(指標の説明)									

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】企画調整係 0857-30-8012
	【10次総の施策体系】1201
	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P30(企004)
	【事業の概要】 結婚による若者定住を促進し、地域の人口増加を図るため、地域や関係団体等との連携を進めながら、若者を対象とした「婚活」事業の実施及び婚活サポートセンターを運営する。
	【事業の成果】 平成30年度 登録者数 1,628人 カップル数103組 成婚数 4組(累計15組) 平成29年度 登録者数 1,470人 カップル数 62組 成婚数 3組(累計11組) 平成28年度 登録者数 1,433人 カップル数 59組 成婚数 4組(累計 8組)
【今後の課題・方向性】 平成31年3月1日から対象者のエリアを麒麟のまち圏域に拡大し、麒麟のまち婚活サポートセンターとして運営している。圏域自治体・地域や関係団体とも連携を図りながら、イベント等において、1市6町の魅力も発信し、圏域の活性化につながる取組としていく。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]成婚数	53%	37%	33%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	婚活イベントの年48回の実施、麒麟のまち圏域への拡大など、計画どおり今年度事業を完了した。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	婚活イベントによるカップルは成立するものの、成婚数が少ないため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>婚活イベントによるカップルは成立するものの成婚数が少ないため、成婚報告を促す取組や、圏域拡大後の各町との連携による魅力あるイベント実施などの取組に力を入れていく必要がある。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	004100	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	妊婦・出産包括支援事業		所属名	健康こども部 こども家庭相談センター

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成26年度 ~ 全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
目標の 実施の 目標	目標の種類別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	外部委託
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	妊婦・出産包括支援事業費		予算事業コード	01-03-02-01-60-05	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	望まない妊娠であったり、母のメンタル不調や育児不安が強い、経済的に困窮しているなど、特に支援が必要な妊婦。家族から十分な援助が受けられず、かつ、体調不良や育児不安等がある産婦と生後3か月までの乳児。
意図 (どのような状態 にするために)	妊産婦等の支援ニーズに応じ、妊娠から出産、子育て期までの切れ目のない支援を包括的に行い、安心して妊娠・出産・育児が行える環境を整える。
手段 (どうするのか)	・母子保健相談支援事業(支援が必要な妊産婦の支援のコーディネート) ・産前・産後サポート事業(妊産婦や子どもに関する悩み相談、啓発用資料の作成、支援者向け研修会の開催) ・産後ケア事業(体調不良や育児不安等がある母子を対象に、生後3か月までの乳児と母親のショートステイ、生後4か月までの乳児と母親の母子デイサービス、生後4か月までの乳児の一時預かりを委託により実施。)

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		乳児を日帰りで一時預かりする乳児一時預かり事業 乳児と母親と一緒に宿泊させる母子ショートステイ事業	乳児を日帰りで一時預かりする乳児一時預かり事業 乳児と母親と一緒に宿泊させる母子ショートステイ事業	乳児を日帰りで一時預かりする産後ゆったり事業 乳児と母親と一緒に宿泊させる母子ショートステイ事業	乳児と母親が日帰りで育児手技等の助言を受け育児不安を解消する母子デイサービス事業	乳児を日帰りで一時預かりする乳児一時預かり事業 乳児と母親と一緒に宿泊させる母子ショートステイ事業
年度別実績	乳児一時預かり事業:44件 母子ショートステイ事業14件	乳児一時預かり事業:60件 母子デイサービス事業18件 母子ショートステイ事業10件	産後ゆったり事業:56件 母子デイサービス事業21件 母子ショートステイ事業16件			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	8,962	11,913	12,348	0	0
	直接経費 A	3,752	3,969	4,336	0	0
	国・県	2,302	2,292	2,638	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	136	181	239	0	0
一般財源	1,314	1,496	1,459	0	0	
人件費 B	5,210	7,944	8,012	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.30	0.40	0.00	0.00
	嘱託職員	0.80	2.90	2.50	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	[KPI] 乳児一時預かり件数	件	目標	60
			実績	44	60	56	0	0
(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。								
2	[KPI] 母子ショートステイ利用組数	組	目標	6	6	6	6	6
			実績	14	10	16	0	0
(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。								
3	[KPI] 産後デイサービスの開設	カ所	目標	0	0	2	2	2
			実績	0	2	2	0	0
(指標の説明) 平成31年度までに開設する産後デイサービスの件数を目標としている。								

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】こども家庭相談センター 0857-20-0122</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P118(健083)</p> <p>【事業の概要】 家族等の支援が十分に得られないため産後の休養ができなかったり、メンタル不調や強い育児不安を抱えた状態で育児が十分に行えないなど、産後の母の休養や母体ケア・乳児ケア等の支援が必要となっている。 妊産婦等の支援ニーズに応じ、次の事業による妊娠から出産、子育て期までの切れ目のない支援を包括的に行い、安心して妊娠・出産・育児が行える環境を整え、子育てを支援する。</p> <p>【事業の成果】 1 母子健康相談支援 2 産後ゆったり事業：28年度 44件、29年度 60件、30年度 56件 3 母子デイサービス事業：29年度 18件、30年度 21件 母子ショートステイ事業：28年度 14件、29年度 10件、30年度 16件</p> <p>【今後の課題・方向性】 産婦の育児不安の解消や心身の安定を図るため、相談支援やサービスを提供し、安心して出産・育児が行われるよう支援を継続していく。 その他財源の諸収入は、妊娠・出産包括支援事業利用者負担金。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI] 乳児一時預かり件数	73%	100%	93%		
	2	[KPI] 母子ショートステイ利用組数	233%	167%	267%		
	3	[KPI] 産後デイサービスの開設			100%		

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>支援が必要な母子に対して、目標値どおりの取り組みを行うことができた。妊産婦等の支援ニーズに応じ、妊娠から出産、子育て期までの切れ目のない支援を包括的に行い、安心して妊娠・出産・育児が行える環境を整えることができた。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>出産後、家族等から十分に援助が得られない方にとって、育児は不安が大きく負担が増大することが懸念され、本事業は産後うつ等の重要な役割があると考え、今後も、産婦の育児不安の解消や心身の安定を図る取り組みを進めていく。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	004200	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	ひとり親家庭自立支援給付金事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	母子及び父子並びに寡婦福祉法、鳥取市高等職業訓練促進給付金等事業実施規則ほか
施策	1201	結婚・出産・子育て支援				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	ひとり親家庭自立支援給付金事業費			予算事業コード	01-03-02-02-08-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	ひとり親家庭の母・父、その子
意図 (どのような状態にするために)	就職に有利な資格取得により生活の安定につなげる。
手段 (どうするのか)	就職に有利な資格取得のため、その間の生活費や受講料の一部を支給する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別実績	自立支援教育訓練給付金 0人(申請なし) 高等職業訓練促進費 20人	自立支援教育訓練給付金 1人 高等職業訓練促進費 23人 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 0人	自立支援教育訓練給付金 3人 高等職業訓練促進費 23人 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 0人	自立支援教育訓練給付金 高等職業訓練促進費 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	自立支援教育訓練給付金 高等職業訓練促進費 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	21,272	24,215	21,155	0	0	
	直接経費 A	19,106	22,019	18,982	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	14,329	16,513	16,474	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,777	5,506	2,508	0	0		
人件費 B	2,166	2,196	2,173	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	高等職業訓練対象者数	人	目標	20
			実績	20	23	22	0	0
	(指標の説明) 高等職業訓練対象者数							
2	支援終了者数	人	目標	2	2	2	2	2
			実績	2	8	9	0	0
	(指標の説明) 入学支援終了者数							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】育成係 0857-30-8239</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【事業の経過及び背景】母子家庭において就職に有利な資格を取得するには期間がかかりその間の生活費の不安から資格取得に動けない現状がある。</p> <p>【事業の目的及び効果】就職に有利で、かつ生活の安定につながる看護師、介護福祉士等国家資格取得養成機関在籍中、給付金を支給することにより、経済的な負担の軽減により資格取得に打ち込めることが可能となる。また、高等学校を卒業していないひとり親家庭の親とひとり親家庭の子の学び直しを支援するため、高等学校卒業程度認定試験合格講座を受講した場合の経費を助成します。</p> <p>【事業の内容・実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援教育訓練給付金：医療事務や介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー)などの資格取得講座を受講する場合に、給付金を支給するもの。 ・高等職業訓練促進費：看護師、介護福祉士等の国家資格取得のために養成機関に1年以上在籍する場合に給付金を支給するもの。 <p>26年度 8名 27年度 15名 28年度 18名 29年度 23名 30年度 22名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校卒業程度認定試験合格支援事業：高等学校を卒業していないひとり親家庭の親の学び直しを支援するため、高等学校卒業程度認定試験合格講座を受講した場合の経費を助成するもの。 <p>【令和元年度の取り組み】本事業の継続的な取り組みを行なう。 また、高等職業訓練促進費について「国庫補助事業(国3/4、市1/4)」では支給対象期間の上限を36月から48月に拡大するとともに、修学最終12月に4万円加算して給付金を支給することにより、支援を拡大する見込みであるため、同様の支援を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	高等職業訓練対象者数	100%	115%	110%		
	2	支援終了者数	100%	400%	450%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>今後も、経済的自立に向けて、就職に有利な資格取得等の継続的な支援が必要と考える。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	004300	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	児童扶養手当事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期	
	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	児童扶養手当法	
	1201	結婚・出産・子育て支援				
目標の 種別	平成28年度		令和2年度		事業分類区分 ソフト(義務)	
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%			運営方法 その他
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%			
	待機児童の数		0人			会計区分 一般会計
予算	予算事業名	児童扶養手当費		予算事業コード	01-03-02-01-03-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	児童(18歳未満又は20歳未満で障害の状態にある者)を監護する母、父、または児童を養育する養育者に手当を支給する。
意図 (どのような状態 にするために)	父親または母親のいないひとり親家庭に手当を支給することで、その自立を扶助し、児童福祉の増進を図る。
手段 (どうするか)	児童扶養手当の支給 全部支給 児童1人 月額42,500円、児童2人 52,400円、児童3人以上1人につき6,020円加算

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 手当支給	平成29年度 手当支給	平成30年度 手当支給	平成31年度 手当支給	令和2年度 手当支給	
	年度別実績	手当支給 1,805人	手当支給 1,739人	手当支給 1,701人			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	871,869	889,682	875,460	0	0	
	直接経費 A	864,200	881,819	863,671	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	287,329	292,120	287,392	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	851	1,856	1,407	0	0
	一般財源	576,020	587,843	574,872	0	0	
人件費 B	7,669	7,863	11,789	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	母子家庭	人	目標	1700	1700	1700	1700	1700
				実績	1709	1575	1550	0	0
		(指標の説明) 母子家庭の受給者							
	2	父子家庭	人	目標	150	150	150	150	150
				実績	150	156	144	0	0
		(指標の説明) 父子家庭の受給者							
	3	養育者	人	目標	10	10	10	10	10
				実績	10	8	7	0	0
		(指標の説明) 養育者の受給者							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>(2月補正に合わせる。シミュレーションに前年度制度変更の反映が必要。精査) 【問合せ先】育成係 0857-30-8239 【10次総の施策体系】 1201 【事業の経過及び背景】離婚の増加によりひとり親家庭は増加している。平成22年度より父子家庭、平成24年度より配偶者からの暴力(DV)被害者も対象となった。また、平成28年度より多子加算が増額された。 【事業の目的及び効果】父親又は母親のいないひとり親家庭に手当を支給することで、その自立を扶助し、児童福祉の増進を図る。 【事業の内容・実績】18歳未満の子を養育する父、母又は養育者に対して手当を支給するもの。 全部支給 月額42,500円、一部支給 月額10,030円～42,490円 子二人目は10,0400円～5,020円加算、三人目以降6,020円～3,010円加算 所得制限あり</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">受給者数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26年度</td> <td>1,934人</td> <td>871,201千円</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>1,936人</td> <td>854,051千円</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>1,952人</td> <td>861,985千円</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>1,739人</td> <td>879,584千円</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>1,701人</td> <td>859,594千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童扶養手当(補助率:国3分の1)</p>		受給者数		支給額	26年度	1,934人	871,201千円	27年度	1,936人	854,051千円	28年度	1,952人	861,985千円	29年度	1,739人	879,584千円	30年度	1,701人	859,594千円
	受給者数		支給額																	
26年度	1,934人	871,201千円																		
27年度	1,936人	854,051千円																		
28年度	1,952人	861,985千円																		
29年度	1,739人	879,584千円																		
30年度	1,701人	859,594千円																		

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	母子家庭	101%	93%	91%		
	2	父子家庭	100%	104%	96%		
	3	養育者	100%	80%	70%		

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%～150%未満:上回る」、「80%～100%以下:目標どおり」、「50%～80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	18歳未満の子の減少及び離婚件数の減少により、受給者数が目標人数を下回ったと考える。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>国の基準に準じて今後も継続して事業を実施していく必要があると考える。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	004400	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	保育園特別保育事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市延長保育実施要綱、鳥取市休日保育事業実施要綱、鳥取市一時預かり事業実施要綱
1201	結婚・出産・子育て支援				
目標の 種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)	
	0%	90%	運営方法	直営	
	0%	88%	会計区分	一般会計	
	0人	0人	予算事業コード	01-03-02-03-01-03	
予算	予算事業名	市立保育園特別保育事業費			

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市立保育園入所児童
意図 (どのような状態にするために)	勤務時間の多様化により、延長保育など利用者の要望に応えた保育業務を実施し、福祉の充実、子育てしやすいまちづくりを実現する。
手段 (どうするのか)	延長保育、一時預りなど保護者の要望に応えた保育業務を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	年度別実績					
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	65,468	55,201	58,520	0	0
	直接経費 A	58,249	47,882	51,277	0	0
	国・県	10,246	18,130	7,822	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	12,569	12,001	6,646	0	0
	一般財源	35,434	17,751	36,809	0	0
人件費 B	7,219	7,319	7,243	0	0	
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	[KPI] 休日保育利用人数	人	目標	400
			実績	722	903	727	0	0
	(指標の説明) 休日保育を利用する述べ人数を示すもの。							
2	[KPI] 延長保育利用人数	人	目標	24000	24000	24000	24000	24000
			実績	24048	22661	23223	0	0
	(指標の説明) 延長保育を利用する延べ人数を示すもの。基準値は平成26年度実績。							
3	[KPI] 一時預かり利用人数	人	目標	4000	4000	4000	4000	4000
			実績	4743	4819	3814	0	0
	(指標の説明) 一時保育を利用する延べ人数を示すもの。基準値は平成26年度実績。							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】保育係 0857-30-8238</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P91(健029)</p> <p>【事業の概要】 勤務時間の多様化により、保育時間の延長利用の要望がある。利用者の要望に応えた保育業務を実施することで、仕事と子育てとの両立を支援し、安心して子育てができる環境の充実を図る。</p> <p>【事業の成果】 1. 延長保育：通常18時までの預かり時間を最長19時半まで延長するもの。 実施保育園17園(旧市8、国府2、福部1、河原1、用瀬1、気高2、鹿野1、青谷1) 2. 一時預かり：保護者の都合等で非入園児童の預かりを半日単位で行なうもの。 実施保育園6園(賀露、河原1、用瀬1、気高1、鹿野1、青谷1、その他旧市は私立)</p> <p>平成28年度 58,249千円 平成29年度 47,882千円 平成30年度 51,290千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 仕事と子育ての両立が図られるよう引き続き実施していく。 その他財源の諸収入は、利用者負担金。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI] 休日保育利用人数	181%	226%	81%		
	2	[KPI] 延長保育利用人数	100%	94%	97%		
	3	[KPI] 一時預かり利用人数	119%	120%	95%		

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	順調
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	目標値を下回っているが、特別保育の需要には概ね対応できている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	仕事と子育ての両立が図られるよう引き続き実施していく。				

事務事業評価シート

事務事業コード	004500	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	病児・病後児保育事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	10	まちづくりの目標		事業期間	全期	
	02	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		根拠法令、 根拠計画等	病児・病後児保育事業実施要綱	
	1201	安心して子どもを産み育てられるまちづくり				
施策の 目標の 種別	平成28年度		令和2年度		事業分類区分	
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%			その他
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%		運営方法	外部委託
	待機児童の数		0人		会計区分	一般会計
予算	予算事業名	病児・病後児保育事業費		予算事業コード	01-03-02-03-18-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	病気治療中、回復期の児童をもつ家庭。
意図 (どのような状態 にするために)	保護者の勤務等により家庭で保育ができない病気児童、病後回復児童を預かることにより、仕事と育児の両立支援を図る。
手段 (どうするのか)	保育所等に通所する児童で、治療中、病後回復期で集団での保育が困難な場合に、一時的に別に設ける専用施設で保育する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		病児・病後児保育実 施	病児・病後児保育実 施	病児・病後児保育実 施	病児・病後児保育実 施	病児・病後児保育実 施	
年度別実績	病児・病後児保育実 施 病児保育 2施設 病後児保育 3施設 非施設型病児・病後 児保育 1カ所 年間延べ利用人数 2,421人	病児・病後児保育実 施 病児保育 2施設 病後児保育 3施設 非施設型病児・病後 児保育 1カ所 年間延べ利用人数 2,635人	病児・病後児保育実 施 病児保育 2施設 病後児保育 3施設 年間延べ利用人数 2,918人				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	52,341	58,746	60,110	0	0	
	直接経費 A	50,897	57,282	58,661	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	31,222	31,500	36,082	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	509	603	487	0	0
一般財源	19,166	25,179	22,092	0	0		
人件費 B	1,444	1,464	1,449	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	[KPI] 病児・病後児保育利用人数	人	目標	1900	2300	2700	3100	3100
				実績	2421	2635	2918	0
(指標の説明) 病児・病後児保育を利用する延べ人数を示すもの。基準値は平成26年度実績。								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】保育係 0857-30-8238</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P94(健035)</p> <p>【事業の概要】 病児保育事業(せいきょうこどもクリニック、病児保育室とくよし) 児童が病気の回復期に至らない場合で、当面の症状の急変が認められない場合において、通常保育とは別の専用施設で預かりを実施。 病後児保育事業(市立病院、保育園2園) 病後児回復期で集団保育が出来ない児童を通常保育とは別の専用施設で預かりを実施。</p> <p>【事業の成果】 平成28年度 50,897千円 延べ2,477人 平成29年度 57,282千円 延べ2,635人 平成30年度 58,661千円 延べ2,918人</p> <p>【今後の課題・方向性】 子育て支援に必要な事業であり、継続して取り組む。 その他財源の諸収入は、利用者負担金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI] 病児・病後児保育利用人数	127%	115%	108%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	順調
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	順調

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>子育て支援に必要な事業であり、継続して取り組む。</small>				

事務事業評価シート

事務事業コード	004600	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	保育園耐震改修等事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 平成31年度
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	保育園耐震改修等事業費			予算事業コード	01-03-02-03-05-14

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	耐震性の低い保育園
意図 (どのような状態にするために)	安全で安心な保育環境の整備
手段 (どうするのか)	耐震改修事業の実施

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画	保育園耐震整備	保育園耐震整備 美保保育園の建築工事(2年目) 他の園の耐震整備に係る協議	前年度の整備協議により実施(予定) 他の園の耐震整備に係る協議	保育園の耐震整備(予定)	H31年度で事業完了予定
年度別実績	保育園耐震整備 美保保育園の用地取得、建築工事(1年目)	保育園耐震整備 美保保育園の用地取得、建築工事(2年目) 他の園の耐震整備に係る協議(保護者・地域と協議)	前年度の整備協議により実施(協議中のため未実施) 他の園の耐震整備に係る協議(保護者・地域と協議)				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	295,053	528,370	104,562	0	0	
	直接経費 A	289,278	522,515	98,768	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	259,900	479,200	92,900	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	29,378	43,315	5,868	0	0		
人件費 B	5,775	5,855	5,794	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.80	0.80	0.80	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	耐震整備園数	園	目標	0
			実績	0	1	0	0	0
	(指標の説明) 耐震整備を行った保育園の数							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理企画係 0857-30-8236</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P92 (健032)</p> <p>【事業の概要】 耐震診断の結果、耐震性の低い保育園の早期改築を行うことで、安心・安全な保育環境を整備し、併せて施設収容力の見直しを図り待機児童対策を行う。</p> <p>【事業の成果】 平成26年度 賀露保育園及び富桑保育園の改築工事 美保保育園の基本及び実施設計など 平成27年度 賀露保育園、富桑保育園旧園舎の解体及び外構工事 平成28年度 美保保育園改築工事 着手 平成29年度 美保保育園改築工事 完了 平成30年度 美保保育園旧園舎の解体及び外構工事</p> <p>【今後の課題・方向性】 耐震性の低い園の耐震改修を計画的に進めていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	耐震整備園数		100%			
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	保護者・地域との協議において、耐震改修等の方向性が決まっておらず、指標で目標としている平成31年度中での施設整備(1園)は難しい。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	保護者・地域との協議において、耐震改修等の方向性が決まっておらず、若干遅れている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	耐震性の低い保育園の整備であることから、園児や職員の安全性の確保のためにも、整備の方向性を保護者・地域と協議していく。平成31年度中の施設整備完了の目標が達成困難であるため、目標の見直しが必要である。				

事務事業評価シート

事務事業コード	004700	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	小児特別医療費助成事業		所属名	福祉部 保険年金課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	昭和48年度 ~ 全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	小児特別医療助成費			予算事業コード	01-03-02-01-50-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	子育て中の世帯
意図 (どのような状態にするために)	医療費にかかる経済的負担を軽減するため
手段 (どうするのか)	18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある者の医療費を助成する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	年度別計画		18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行う	18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行う	18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行う	18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行う	18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行う
年度別実績		18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行った助成件数:242,863件	18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行った助成件数:238,982件	18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行った助成件数:237,732件			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	657,555	650,415	656,843	0	0	
	直接経費 A	650,336	643,096	649,600	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	323,114	319,380	322,669	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	4,464	4,583	3,321	0	0
	一般財源	322,758	319,133	323,610	0	0	
人件費 B	7,219	7,319	7,243	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	[KPI]対象者の年齢(上限)	歳	目標	18	18	18	18	18
				実績	18	18	18	0
(指標の説明) 小児特別医療助成費の支給対象年齢。								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】医療助成係 0857-30-8223</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P74(福051)</p> <p>【事業の経過及び背景】 乳幼児の健康保持を図る目的で昭和48年より創設された。平成23年4月より中学校卒業まで行っている小児特別医療助成制度の対象年齢を、平成28年4月より高校卒業まで拡大するもの。</p> <p>【事業の目的及び効果】 小児(18歳まで)に対し、医療費の助成を行う。</p> <p>【事業の内容・実績】 対象者 乳幼児の入院・通院医療費を助成 患者負担額 通院 530円/日 (同一医療機関で一月5日目以降は無料) 入院 1,200円/日 (1) 1 市民税非課税世帯で「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を受けている 方については、一月当たりの負担上限は15日、18,000円まで。 (扶助費) 平成28年度 242,863件 621,129,787円 平成29年度 241,368件 616,681,218円 平成30年度 237,732件 624,580,323円</p> <p>【今後の取り組み】 子育てに伴う医療費の負担軽減及び子どもの健康保持のため、引き続き制度の円滑な運営に努めていく。 その財源は諸収入(医療助成費返還金)</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]対象者の年齢(上限)	100%	100%	100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>医療機関窓口で支払う負担が少額になることによって医療費負担の意識が薄くなりがちなことから、適正受診に対する啓発(ジェネリック医薬品利用促進等)と併せて事業を進めていく必要がある。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	004800	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	母子保健訪問指導事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期	
	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等		
	1201	結婚・出産・子育て支援				
目標の 種別	平成28年度		令和2年度		事業分類区分 ソフト(義務)	
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%			90%
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%			88%
	待機児童の数		0人			0人
予算	予算事業名	母子保健訪問指導事業費		予算事業コード	01-04-01-03-02-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	産婦及び新生児の家庭
意図 (どのような状態 にするために)	産婦及び新生児の健康の保持増進を図り、安心して子育てができるようにする。
手段 (どうするのか)	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育てに関する不安や相談に応じ、適切な保健指導を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導	母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導	母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導	母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導	母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導
事業費	年度別実績	母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導を実施	母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導を実施	母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
直接経費の財源内訳	事業費(A+B)	26,290	26,590	25,667	0	0
	国・県	4,633	4,633	3,938	0	0
	地方債	3,088	2,830	2,626	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,545	1,803	1,312	0	0
	人件費 B	21,657	21,957	21,729	0	0
職員数の内訳	正規職員	3.00	3.00	3.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	(KPI) 妊産婦の訪問割合	%	目標	98
			実績	96	99	97	0	0
	(指標の説明) 全妊産婦に対し、訪問・保健指導を行った割合。基準値は平成26年度実績。							
2	新生児訪問率	%	目標	98	98	98	98	98
			実績	96	99	97	0	0
	(指標の説明) 出生数に対し母子保健推進員及び保健師が訪問した割合							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P93(健026)</p> <p>【事業の概要】 子どもの健やかな成長と子育てを支援するために、母子保健法に基づく新生児訪問指導を併せて児童福祉法に基づく「こんにちは赤ちゃん事業」として実施する。生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する不安や相談等に応じたり、情報提供を行う。</p> <p>【事業の成果】 保健師及び委託した母子保健推進員が産婦及び新生児の家庭を訪問し、保健指導を行うことにより、子育てに関する不安を軽減し、その後の適切な育児へとつなげることができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">決算額</th> <th style="text-align: center;">産婦訪問人数</th> <th style="text-align: center;">新生児人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: right;">4,633千円</td> <td style="text-align: right;">1,509人</td> <td style="text-align: right;">1,529人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: right;">4,633千円</td> <td style="text-align: right;">1,462人</td> <td style="text-align: right;">1,472人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: right;">3,938千円</td> <td style="text-align: right;">1,395人</td> <td style="text-align: right;">1,389人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 事業の周知に努めるとともに、全数訪問を目指して継続実施する。</p>		決算額	産婦訪問人数	新生児人数	平成28年度	4,633千円	1,509人	1,529人	平成29年度	4,633千円	1,462人	1,472人	平成30年度	3,938千円	1,395人	1,389人
		決算額	産婦訪問人数	新生児人数													
平成28年度	4,633千円	1,509人	1,529人														
平成29年度	4,633千円	1,462人	1,472人														
平成30年度	3,938千円	1,395人	1,389人														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI] 妊産婦の訪問割合	98%	101%	99%		
	2	新生児訪問率	98%	101%	99%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p style="text-align: center;">年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p style="text-align: center;">事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p style="text-align: center;">担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>新生児期や乳幼児期の子どもを持つ家庭へのサポートを効果的かつ確実に実施するために今後も事業を継続する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	004900	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	妊婦健康診査事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1201	結婚・出産・子育て支援				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	外部委託
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	妊婦健康診査費		予算事業コード	01-04-01-03-03-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	妊婦
意図 (どのような状態にするために)	母体や胎児の健康確保を図り、安心して出産を迎えられるようにする。
手段 (どうするのか)	妊婦健康診査受診票を1人あたり14枚交付し、妊婦健康診査費の助成をすることで、妊婦健康診査を受けやすくする。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		妊婦届出時に妊婦健康診査受診票を配布 ・1人あたり14枚 多胎妊娠妊婦には5枚追加交付	妊婦届出時に妊婦健康診査受診票を配布 ・1人あたり14枚 多胎妊娠妊婦には5枚追加交付	妊婦届出時に妊婦健康診査受診票を配布 ・1人あたり14枚 多胎妊娠妊婦には5枚追加交付	妊婦届出時に妊婦健康診査受診票を配布 ・1人あたり14枚 多胎妊娠妊婦には5枚追加交付	妊婦届出時に妊婦健康診査受診票を配布 ・1人あたり14枚 多胎妊娠妊婦には5枚追加交付	妊婦届出時に妊婦健康診査受診票を配布 ・1人あたり14枚 多胎妊娠妊婦には5枚追加交付
年度別実績	受診表の配布 配布者数:1,483人	受診表の配布 配布者数:1,516人	受診表の配布 配布者数:1,378人				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	135,049	136,054	139,753	0	0	
	直接経費 A	129,274	130,199	133,959	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	47	58	58	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	129,227	130,141	133,901	0	0	
人件費 B	5,775	5,855	5,794	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.80	0.80	0.80	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	妊婦健康診査受診数	件	目標	20000
			実績	19859	19204	18876	0	0
	(指標の説明) 妊婦健康診査受診数							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P94(健027)</p> <p>【事業の概要】 母子手帳交付時に併せて妊婦一般健康診査受診票を交付する。</p> <p>【事業の成果】 妊娠中の異常の早期発見や疾病予防のために、定期的な妊婦健康診査を受けることが必要である。妊婦健康診査費の一部を助成することで経済的負担の軽減を図り、妊婦健診を受けやすくし、安心して出産をむかえられるよう支援した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>決算額</th> <th colspan="2">妊婦一般健康診査</th> <th colspan="2">多胎妊娠妊婦健診</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>延人数</th> <th>助成回数</th> <th>延人数</th> <th>助成回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>129,274,000円</td> <td>19,859人</td> <td>14回</td> <td>19人</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>130,199,371円</td> <td>19,204人</td> <td>14回</td> <td>2人</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>133,959,173円</td> <td>18,876人</td> <td>14回</td> <td>5人</td> <td>5回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 妊婦健康診査の重要性について周知しながら継続実施する。</p>		決算額	妊婦一般健康診査		多胎妊娠妊婦健診				延人数	助成回数	延人数	助成回数	平成28年度	129,274,000円	19,859人	14回	19人	5回	平成29年度	130,199,371円	19,204人	14回	2人	5回	平成30年度	133,959,173円	18,876人	14回	5人	5回
		決算額	妊婦一般健康診査		多胎妊娠妊婦健診																										
		延人数	助成回数	延人数	助成回数																										
平成28年度	129,274,000円	19,859人	14回	19人	5回																										
平成29年度	130,199,371円	19,204人	14回	2人	5回																										
平成30年度	133,959,173円	18,876人	14回	5人	5回																										

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	妊婦健康診査受診数	99%	96%	97%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	ほぼ目標の受診者数となった。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	妊婦と胎児の健康を維持するために、妊婦が安心して健診(歯科健診を含む)を受けられるよう継続実施していく。		

事務事業評価シート

事務事業コード	005000	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	乳児健康診査事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	母子保健法
施策	1201	結婚・出産・子育て支援				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	外部委託
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	乳児健康診査費		予算事業コード	01-04-01-03-05-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	生後3か月から4か月児、生後9か月から10か月児
意図 (どのような状態にするために)	乳児期の疾病の早期発見及び健康の保持増進
手段 (どうするのか)	乳児健康診査受診票を2枚交付し、乳児健康診査費の助成をすることで、乳児健康診査を受けやすくする。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		乳児健康診査受診票を交付(3~4か月健診分) 乳児健康診査受診票を交付(9~10か月健診分)	乳児健康診査受診票を交付(3~4か月健診分) 乳児健康診査受診票を交付(9~10か月健診分)	乳児健康診査受診票を交付(3~4か月健診分) 乳児健康診査受診票を交付(9~10か月健診分)	乳児健康診査受診票を交付(3~4か月健診分) 乳児健康診査受診票を交付(9~10か月健診分)	乳児健康診査受診票を交付(3~4か月健診分) 乳児健康診査受診票を交付(9~10か月健診分)	乳児健康診査受診票を交付(3~4か月健診分) 乳児健康診査受診票を交付(9~10か月健診分)
年度別実績	交付者数 1,579人(うち受診者1,547人) 交付者数 1,658人(うち受診者1,453人)	交付者数 1,449人(うち受診者1,414人) 交付者数 1,492人(うち受診者1,371人)	交付者数 1,490人(うち受診者1,421人) 交付者数 1,460人(うち受診者1,331人)				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	19,143	18,398	18,424	0	0	
	直接経費 A	17,699	16,934	16,975	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	17,699	16,934	16,975	0	0		
人件費 B	1,444	1,464	1,449	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				3~4か月児乳児健康診査受診率	%	目標	95	95
1	(指標の説明) 3~4か月児の乳児が健康診査を受診した割合	実績	98	97.5	95.4	0	0	
		目標	90	90	90	90	90	
		実績	87.6	91.9	91.2	0	0	
2	(指標の説明) 9~10か月児の乳児が健康診査を受診した割合	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)						
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算P (健027)</p> <p>【事業の概要】 母子保健法に基づく健康診査として3～4か月健診・9～10か月健診の受診券を発行し、医療機関委託で実施する。</p> <p>【事業の成果】 成長発達の確認や疾病の早期発見をし、適切な指導を行い、乳児の健康の保持増進を図ることが出来た。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">決算額</th> <th style="text-align: center;">受診者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: right;">17,699,000円</td> <td style="text-align: right;">3,000人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: right;">16,934,061円</td> <td style="text-align: right;">2,785人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: right;">16,974,804円</td> <td style="text-align: right;">2,752人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 乳児の健康の保持増進を図るため、継続実施する。</p>		決算額	受診者数	平成28年度	17,699,000円	3,000人	平成29年度	16,934,061円	2,785人	平成30年度	16,974,804円	2,752人
		決算額	受診者数										
平成28年度	17,699,000円	3,000人											
平成29年度	16,934,061円	2,785人											
平成30年度	16,974,804円	2,752人											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	3～4か月児乳児健康診査受診率	103%	103%	100%		
	2	9～10か月児乳児健康診査受診率	97%	102%	101%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画通り実施することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%～150%未満:上回る」、「80%～100%以下:目標どおり」、「50%～80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>母子保健法に基づく健康診査で、鳥取県下統一した方法で実施している。安心して健診を受けられる体制を整備し、乳児の健康を確保するためにも継続実施していく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	005100	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	6か月児健康診査事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	母子保健法
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	6か月児健康診査費		予算事業コード	01-04-01-03-06-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	6か月児
意図 (どのような状態にするために)	乳児期の疾病の早期発見及び健康の保持増進。 ブックスタート事業実施の場
手段 (どうするのか)	6か月児健康診査を実施する。(集団健診)

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		身体計測・小児科医の診察 栄養指導・保健指導 絵本の読み聞かせ ブックスタートパックの配布	身体計測・小児科医の診察 栄養指導・保健指導 絵本の読み聞かせ ブックスタートパックの配布	身体計測・小児科医の診察 栄養指導・保健指導 絵本の読み聞かせ ブックスタートパックの配布	身体計測・小児科医の診察 栄養指導・保健指導 絵本の読み聞かせ ブックスタートパックの配布	身体計測・小児科医の診察 栄養指導・保健指導 絵本の読み聞かせ ブックスタートパックの配布	身体計測・小児科医の診察 栄養指導・保健指導 絵本の読み聞かせ ブックスタートパックの配布
年度別実績	受診者数(1564人) 受診率(98.9%) 絵本の読み聞かせ実施数(1564人) ブックスタートパックの配布数(1576人)	受診者数(1419人) 受診率(98.7%) 絵本の読み聞かせ実施数(1419人) ブックスタートパックの配布数(1437人)	受診者数(1423人) 受診率(99.4%) 絵本の読み聞かせ実施数(1423人) ブックスタートパックの配布数(1428人)				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	24,749	25,061	24,696	0	0	
	直接経費 A	3,092	3,104	2,967	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,092	3,104	2,967	0	0		
人件費 B	21,657	21,957	21,729	0	0		
職員数の内訳	正規職員	3.00	3.00	3.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	6か月検診受診率	%	目標	98
			実績	98.9	98.7	99.4	0	0
	(指標の説明) 6か月健診対象者のうち、受診者の割合							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P94(健028)</p> <p>【事業の概要】 乳児期の健康保持増進を図るためには、定期的に健康診査を受け健康状態を明らかにする必要があり、成長発達の確認や疾病の早期発見をし、適切な指導を行うことで、6か月児の心身の健やかな成長を図る。</p> <p>【事業の成果】 身体計測・小児科医の診察 栄養指導(栄養士)・保健指導(保健師)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">決算額</th> <th style="text-align: center;">受診者数(受診率)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: right;">3,092,228円</td> <td style="text-align: right;">1,564人(98.9%)</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: right;">3,103,698円</td> <td style="text-align: right;">1,419人(98.7%)</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: right;">2,966,907円</td> <td style="text-align: right;">1,423人(99.4%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 子どもの成長、発達を確認するとともに、子育て支援としても重要な役割を担っており今後も継続して実施する。</p>		決算額	受診者数(受診率)	平成28年度	3,092,228円	1,564人(98.9%)	平成29年度	3,103,698円	1,419人(98.7%)	平成30年度	2,966,907円	1,423人(99.4%)
		決算額	受診者数(受診率)										
平成28年度	3,092,228円	1,564人(98.9%)											
平成29年度	3,103,698円	1,419人(98.7%)											
平成30年度	2,966,907円	1,423人(99.4%)											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	6か月検診受診率	101%	101%	101%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>子どもの成長、発達を確認するとともに、子育て支援としても重要な役割を担っており、今後も継続して実施する。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	005200	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	育児等健康支援事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	1201	結婚・出産・子育て支援			
目標の 種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)	
	0%	90%	運営方法	直営	
	0%	88%	会計区分	一般会計	
	0人	0人	予算事業コード	01-04-01-03-09-01	
予算	予算事業名	育児等健康支援事業費			

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	妊婦及び乳幼児及びその保護者、学童期、思春期の児童、生徒
意図 (どのような状態 にするために)	母子の愛着形成を促進し、子どもの健やかな成長・発達を促したり、育児不安の解消を図る。児童・生徒の健全な発育、発達を促す。
手段 (どうするのか)	保健センターや各地区公民館等に出向き、子育てに関する教育・相談を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		幼児学級 地区健康教育 育児サロンなど	幼児学級 地区健康教育 育児サロンなど	幼児学級 地区健康教育 育児サロンなど	幼児学級 地区健康教育 育児サロンなど	幼児学級 地区健康教育 育児サロンなど
事業費	年度別実績	幼児学級 (23回 延415人) 地区健康教育 (147回 3239人) 育児サロン、セミナー (17回 745人)	幼児学級 (23回 延337人) 地区健康教育 (144回 3497人) 育児サロン、セミナー (17回 867人)	幼児学級 (23回 延329人) 地区教育 (152回 2,915人) 育児サロン、セミナー (17回 799人)		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
事業費	事業費(A+B)	22,856	23,130	22,997	0	0
直接経費の 財源内訳	直接経費 A	1,199	1,173	1,268	0	0
	国・県	0	400	654	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,199	773	614	0	0
	人件費 B	21,657	21,957	21,729	0	0
職員数の 内訳	正規職員	3.00	3.00	3.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	ふれあい学級参加延べ人数(組)	組	目標	250
			実績	415	165	152	0	0
	(指標の説明) これまで幼児の発達支援の教室に参加した延べ人数としていたが、親子で1組の単位に変更した。							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】当初予算・P</p> <p>【事業の概要】</p> <p>1 母子の健康づくりや栄養管理、育児等について、グループワーク等の方法を用いて教室を実施することで、母子の愛着形成を促進し子どもの健やかな発達を促す。</p> <p>2 発達が気になりな子どもやその保護者、育児不安を持つ母親等に対し、相談の場や親子のふれあいの場を設けて子どもの健全な発達を促し、育児不安の軽減を図る。</p> <p>3 栄養強化を必要とする妊産婦、乳児に牛乳、粉ミルクを配布する。 (母子栄養食品支給委託)鳥取白バラ乳販株式会社</p> <p>【事業の成果】</p> <p>地域での子育てサークルや、支援センター等で子育ての講座や、相談を実施し保護者に子育てについての知識を伝えるとともに、安心して子育てが行えるよう支援することができた。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">決算額</th> <th style="text-align: center;">幼児学級 (延人数)</th> <th style="text-align: center;">地区健康教育 (延人数)</th> <th style="text-align: center;">母子栄養食品支給 妊婦 乳児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: right;">1,199,444円</td> <td style="text-align: right;">23回(207組)</td> <td style="text-align: right;">133回(2,898人)</td> <td style="text-align: right;">6人 0人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: right;">1,173,073円</td> <td style="text-align: right;">23回(165組)</td> <td style="text-align: right;">144回(3,497人)</td> <td style="text-align: right;">13人 1人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: right;">1,268,523円</td> <td style="text-align: right;">23回(152組)</td> <td style="text-align: right;">152回(2,916人)</td> <td style="text-align: right;">10人 0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>育児不安を軽減し、健やかな親子関係を築くため継続実施する。</p>		決算額	幼児学級 (延人数)	地区健康教育 (延人数)	母子栄養食品支給 妊婦 乳児	平成28年度	1,199,444円	23回(207組)	133回(2,898人)	6人 0人	平成29年度	1,173,073円	23回(165組)	144回(3,497人)	13人 1人	平成30年度	1,268,523円	23回(152組)	152回(2,916人)	10人 0人
	決算額	幼児学級 (延人数)	地区健康教育 (延人数)	母子栄養食品支給 妊婦 乳児																	
平成28年度	1,199,444円	23回(207組)	133回(2,898人)	6人 0人																	
平成29年度	1,173,073円	23回(165組)	144回(3,497人)	13人 1人																	
平成30年度	1,268,523円	23回(152組)	152回(2,916人)	10人 0人																	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成率	1	ふれあい学級参加延べ人数(組)	166%	92%	84%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p style="text-align: center;">年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p style="text-align: center;">事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p style="text-align: center;">担当課長の評価コメント</p> <p>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>育児不安を軽減し、健やかな親子関係を築くため継続実施する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	005300	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	特定不妊治療助成事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1201	結婚・出産・子育て支援				
施策の目標	目標の種類別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	補助金交付
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	特定不妊治療助成事業費補助金			予算事業コード	01-04-01-03-29-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	特定不妊治療を受けた夫婦
意図 (どのような状態にするために)	子どもを望む夫婦が安心して子どもを産み育てることができるようにする。
手段 (どうするのか)	特定不妊治療費の一部を助成する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		特定不妊治療に要した費用のうち鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。(制度改正により、国は妻の治療開始年齢により助成制限を設ける)	特定不妊治療に要した費用のうち鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。(H29年度より、治療開始日の妻の年齢が43歳以上は助成対象外)	特定不妊治療に要した費用のうち鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。	特定不妊治療に要した費用のうち鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。	特定不妊治療に要した費用のうち鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。	
年度別実績	特定不妊治療に要した費用のうち鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。(制度改正により、国は妻の治療開始年齢により助成制限を設ける)	特定不妊治療に要した費用のうち鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。(H29年度より、治療開始日の妻の年齢が43歳以上は助成対象外)	特定不妊治療に要した費用のうち鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。(H29年度より、治療開始日の妻の年齢が43歳以上は助成対象外)				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	18,017	18,820	20,483	0	0	
	直接経費 A	13,686	14,429	16,137	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	13,686	14,429	16,137	0	0		
人件費 B	4,331	4,391	4,346	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	(KPI) 特定不妊治療費助成実人員	人	目標	180	179	180	180	180
				180	208	207	0	0
(指標の説明) 特定不妊治療の対象となった市民が助成を受けた人数								
2	特定不妊治療費助成延べ件数	件	目標	350	384	350	350	350
				350	404	451	0	0
(指標の説明) 特定不妊治療の対象となった市民が助成を受けた件数								
3			目標	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P97(健033)</p> <p>【事業の概要】 経済的負担が原因で子どもを諦める夫婦がないように治療費を助成することで子どもを望む夫婦が安心して子どもを産み育てる環境づくりを行うために、鳥取県特定不妊治療助成事業の対象となった人に対して治療費の追加助成を行う。 平成28年度より助成対象回数が変わり通算助成期間、年間助成回数の制限がなくなった。 鳥取県特定不妊治療助成事業の対象となった費用から、鳥取県の助成金を控除した額又は5万円(以前に凍結した胚を解凍して胚移植を実施した治療については2万5千円)のいずれか低い額を助成する。</p> <p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">決算額</th> <th style="text-align: center;">助成件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">13,685,865円</td> <td style="text-align: center;">実179名(延384件)</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: center;">14,428,678円</td> <td style="text-align: center;">実208名(延404件)</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: center;">16,137,325円</td> <td style="text-align: center;">実207名(延451件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 今後とも子どもを産み育てる環境づくりを進めていくため、継続実施する。</p>		決算額	助成件数	平成28年度	13,685,865円	実179名(延384件)	平成29年度	14,428,678円	実208名(延404件)	平成30年度	16,137,325円	実207名(延451件)
		決算額	助成件数										
平成28年度	13,685,865円	実179名(延384件)											
平成29年度	14,428,678円	実208名(延404件)											
平成30年度	16,137,325円	実207名(延451件)											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI] 特定不妊治療費助成実人員	99%	116%	115%		
	2	特定不妊治療費助成延べ件数	110%	115%	129%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>少子化対策の一環として、市民が安心して子どもを産める環境づくりは継続的に必要である。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	005400	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	一般不妊治療助成事業		所属名	健康子ども部 中央保健センター

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	10	まちづくりの目標		事業期間	平成23年度 ~ 全期	
	02	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		根拠法令、 根拠計画等		
	1201	安心して子どもを産み育てられるまちづくり				
施策の 目標の	目標の種類		平成28年度	令和2年度		
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	事業分類区分	ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法	直営
	待機児童の数		0人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	一般不妊治療助成事業費		予算事業コード	01-04-01-03-30-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県の一般不妊治療助成事業の交付決定を受け、かつ申請時に市内に1年以上居住している人
意図 (どのような状態 にするために)	一般不妊治療に係る経済的な負担を軽減するため
手段 (どうするか)	治療費の2割を通算2年度助成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
内容	年度別計画	一般不妊治療費助成	一般不妊治療費助成	一般不妊治療費助成	一般不妊治療費助成	一般不妊治療費助成
	年度別実績	一般不妊治療費助成 (延68件)	一般不妊治療費助成 (延118件)	一般不妊治療費助成 (延102件)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	2,120	2,632	1,616	0	0
	直接経費 A	676	1,168	892	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	676	1,168	892	0	0	
人件費 B	1,444	1,464	724	0	0	
職員数の 内訳	正規職員	0.20	0.20	0.10	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	(KPI)一般不妊治療費助成実人員	人	目標	50	50	50	50	50
		実績		68	100	90	0	0	
	(指標の説明) 一般不妊治療の対象となった市民が助成を受けた人数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P</p> <p>【事業の概要】 保険適用とならない人工授精の費用の一部を助成することにより、治療に係る経済的な負担を軽減する。</p> <p>【事業の成果】 助成内容：治療費の2割を通算2年度助成。県5割・市2割の助成を合わせて実質的な自己負担を3割とする。</p> <p>(事業の成果) 平成28年度 決算額 676,179円 助成件数 実65名(延68件) 平成29年度 決算額 1,167,722円 助成件数 実100名(延118件) 平成30年度 決算額 892,026円 助成件数 実90名(延102件)</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後とも子どもを産み育てる環境づくりを進めていくため、継続実施する。 平成30年度からは、県の助成制度に基づく助成も鳥取市が実施しているので、継続して実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]一般不妊治療費助成実人員	136%	200%	180%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画通り助成手続きを行うことができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	事業の周知が図られ、申請がされている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	今後とも子どもを産み育てる環境づくりを進めていくため、継続して実施していく。				

事務事業評価シート

事務事業コード	005500	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	不育治療助成事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	10	まちづくりの目標		事業期間	平成27年度 ~ 全期	
	02	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市不育治療費等助成金交付要綱	
	1201	安心して子どもを産み育てられるまちづくり				
施策の 目標の 種別	平成28年度		令和2年度		事業分類区分 ソフト(任意)	
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%		運営方法 補助金交付
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%		
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	不育治療助成事業費補助金		予算事業コード	01-04-01-03-32-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	不育症のため、子どもを持つことが困難な夫婦に
意図 (どのような状態にするために)	不育症に係る検査及び治療を受けた場合に、その検査費及び治療費の一部を助成することにより、その経済的負担の軽減を図り、
手段 (どうするのか)	子どもを望む夫婦が安心して子どもを産むことができるよう支援を行うことを目的として交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 不育治療費等助成金 交付	平成29年度 不育治療費等助成金 交付	平成30年度 不育治療費等助成金 交付	平成31年度 不育治療費等助成金 交付	令和2年度 不育治療費等助成金 交付
	年度別実績	不育治療費等助成金 交付(実件数:6件)	不育治療費等助成金 交付(実件数:7件)	不育治療費等助成金 交付(実件数:7件)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	769	936	833	0	0
	直接経費 A	47	204	109	0	0
	国・県	23	95	54	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	24	109	55	0	0
人件費 B	722	732	724	0	0	
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動 指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		(KPI) 不育治療等費助成実人員	人	目標	5	5	5	5	5	
			実績	6	7	7	0	0		
	(指標の説明) 不育治療の対象となった市民が助成を受けた人数									
	2	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		不育治療等助成金交付件数	件	目標	10	10	10	10	10	
		実績	6	7	7	0	0			
(指標の説明)										
3	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
			目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P</p> <p>【事業の概要】 不育症の検査・治療を受けている夫婦に対し、保険適用外の医療費負担の軽減を図るため、費用の一部を助成する制度を平成27年4月1日から実施。 保険適用とならない不育症の検査・治療費の一部を助成することにより、経済的な負担を軽減する。</p> <p>【事業の成果】 対象者：法律上の婚姻をしている夫婦で、申請時に市内に引き続き1年以上居住しており、日本産科婦人科学会専門医が所属する医療機関において不育症と診断され、治療を受けている、など諸要件を満たす方 助成額：不育症に係る診断・治療に要した保険適用外の金額の5割を助成。1年度につき10万円、通算5年度を上限とする。</p> <p>(事業の成果) 平成28年度 決算額 46,989円 助成件数 実6名(延6件) 平成29年度 決算額 190,568円 助成件数 実7名(延7件) 平成30年度 決算額 108,494円 助成件数 実7名(延7件)</p> <p>【今後の取り組み】 子どもを産み育てる環境づくりを進めていくため、継続実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI] 不育治療等費助成実人員	120%	140%	140%		
	2	不育治療費等助成金交付件数	60%	70%	70%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	子どもを産み育てる環境づくりを進めていくため、実施していく。		

事務事業評価シート

事務事業コード	005600	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	妊婦歯科健診事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	外部委託
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	妊婦歯科健診事業費			予算事業コード	01-04-01-03-33-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	妊婦
意図 (どのような状態にするために)	妊婦が適切に口腔管理をすることで、出生児へのむし菌の母子感染を防ぎ、母子ともに生涯を通じて健全な口腔機能を維持していくため
手段 (どうするのか)	妊婦の歯科健康診査費を助成することで経済的な軽減を図り、歯科健診を受けやすくし、母子の口腔衛生の向上を図られるよう支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		妊婦の歯科健康診査費を助成する	妊婦の歯科健康診査費を助成する	妊婦の歯科健康診査費を助成する	妊婦の歯科健康診査費を助成する	妊婦の歯科健康診査費を助成する	妊婦の歯科健康診査費を助成する
年度別実績	妊婦歯科検診受診者 553人	妊婦歯科検診受診者 532人	妊婦歯科検診受診者 574人				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,851	1,839	1,898	0	0	
	直接経費 A	1,129	1,107	1,174	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	353	600	580	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	776	507	594	0	0	
人件費 B	722	732	724	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	妊婦歯科検診受診者数	人	目標	425
	(指標の説明)		実績	553	532	574	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P97(健034)</p> <p>【事業の概要】 妊娠をきっかけとして、妊婦が適切に口腔管理をすることは、出生児へのむし菌の母子感染を防ぎ、母子ともに生涯を通じて健全な口腔機能を維持していくことにつながる。妊婦の歯科健康診査費を助成することで経済的な負担の軽減を図り、歯科健診を受けやすくし、母子の口腔衛生の向上が図られるよう支援する。</p> <p>【事業の成果】 平成28年度 決算額 1,129,097円 助成件数 553件 平成29年度 決算額 1,107,208円 助成件数 532件 平成30年度 決算額 1,173,920円 助成件数 574件</p> <p>【今後の課題・方向性】 妊娠歯科健診の必要性や、生涯を通じて健全な口腔機能を維持していくことの重要性を継続して啓発する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	妊婦歯科検診受診者数	130%	125%	135%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	生涯を通じて口腔機能を維持していく出発点として、継続して啓発していく。		

事務事業評価シート

事務事業コード	005700	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	新生児聴覚検査費助成事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	その他
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	新生児聴覚検査費助成事業費			予算事業コード	01-04-01-03-34-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	新生児
意図 (どのような状態にするために)	障がいの早期発見・適切な療育により、ことばの発達が見込まれる児もいることから、両側の耳の聞こえの障がいを早期に発見するため、
手段 (どうするのか)	より多くの新生児が検査を受けられるよう、新生児聴覚検査の費用を助成する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画	受診券を交付	受診券を交付	受診券を交付	受診券を交付	受診券を交付	
	年度別実績	妊婦健診受診者全員に交付 参考 出生数:1,399人 受診者数:1,213件 (H28.4.1-H29.2.29)	妊婦健診受診者全員に交付 参考 出生数:1,420人 受診者数:1,270件 (H29.3.1-H30.2.29)	妊婦健診受診者全員に交付 参考 出生数:1,442人 受診者数:1,244件 (H30.3.1-H31.2.29)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	3,967	4,104	4,035	0	0	
	直接経費 A	2,523	2,640	2,586	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,657	2,640	2,586	0	0
一般財源	866	0	0	0	0		
人件費 B	1,444	1,464	1,449	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	受診率	%	目標	92	100	100	100	100	
				実績	86.6	89.4	86.3	0	0	
	(指標の説明) 新生児のうち聴覚検査を受けた者の割合									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P98(健035)</p> <p>【事業の概要】 両側の耳の聞こえに障がいをもつ新生児は、1,000人に1~2人の割合でいると言われており、ことばの発達や学習に影響を及ぼす。この障がいは、ことばの発達の遅れ(1歳~1歳半頃)によって認識されることが多いが、障がいの早期発見・適切な療育により、ことばの発達が見込まれる児もある。 この障がいを早期に発見するため、新生児聴覚検査が実施されているが、より多くの新生児が検査を受けられるよう、検査費用を助成する。</p> <p>【事業の成果】 平成28年度 決算額 2,523,253円 助成件数 1,213件 平成29年度 決算額 2,640,156円 助成件数 1,270件 平成30年度 決算額 2,585,597円 助成件数 1,244件</p> <p>【今後の課題・方向性】 新生児が聴覚検査を受けることが出来るよう、今後も助成していくことが必要。 その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	受診率	94%	89%	86%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>新生児が100%検査を受け、聴覚の障がい早期発見できるよう、今後も検査費用を助成する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	005800	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て短期支援事業		所属名	健康こども部 こども家庭相談センター

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成15年度 ~ 全期	
	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等		
	1201	結婚・出産・子育て支援				
目標の 種別	平成28年度		令和2年度		事業分類区分 ソフト(任意)	
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%			90%
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%			88%
	待機児童の数		0人			0人
予算	予算事業名	子育て支援短期利用事業費		予算事業コード	01-03-02-01-14-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内在住の児童、保護者
意図 (どのような状態 にするために)	保護者の疾病等で家庭における児童の養育が、一時的に困難となった場合に短期間預かることで、児童及びその家庭の生活を支援
手段 (どうするのか)	・ショートステイ事業、平日日帰りステイ事業、トワイライトステイ事業を鳥取こども学園、青谷こども学園に委託して実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		ショートステイ利用 日数:782日 トワイライトステイ 利用日数:234日	ショートステイ利用 日数:715日 平日日帰りステイ利 用日数:23日 トワイライトステイ 利用日数:215日	ショートステイ利用 日数:700日 平日日帰りステイ利 用日数:100日 トワイライトステイ 利用日数:200日	ショートステイ利用 日数:750日 平日日帰りステイ利 用日数:80日 トワイライトステイ 利用日数:220日	ショートステイ利用 日数:750日 平日日帰りステイ利 用日数:80日 トワイライトステイ 利用日数:220日
事業費	年度別実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		ショートステイ利用 日数:730日 トワイライトステイ 利用日数:229日	ショートステイ利用 日数:717日 平日日帰りステイ利 用日数:108日 トワイライトステイ 利用日数:218日	ショートステイ利用 日数:750日 平日日帰りステイ利 用日数:78日 トワイライトステイ 利用日数:213日		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	8,872	8,086	7,280	0	0
	直接経費 A	5,262	5,890	4,383	0	0
	国・県	3,050	2,874	2,894	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	710	564	455	0	0
一般財源	1,502	2,452	1,034	0	0	
人件費 B	3,610	2,196	2,897	0	0	
職員数の 内訳	正規職員	0.50	0.30	0.40	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	[KPI]ショートステイ延べ日数	日	目標	686
			実績	730	717	750	0	0
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。							
2	[KPI]トワイライトステイ延べ日数	日	目標	100	215	200	230	230
			実績	229	218	213	0	0
	(指標の説明) 基準値は平成29年度実績。							
3	[KPI]平日日帰りステイ延べ日数	日	目標	0	0	100	100	100
			実績	0	0	78	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】こども家庭相談センター 0857-20-0122</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P116(健079)</p> <p>【事業の概要】 仕事、疾病、家庭の事情等により一時的に家庭での養育が困難なとき、その間の養育を頼れる支援者のない保護者を支援するため、宿泊を伴うショートステイ事業、平日日中の平日日帰りステイ、平日夜間・休日のトワイライトステイ事業による一時預かりを児童養護施設に委託し実施している。</p> <p>【事業の成果】 1 28年度利用延べ日数(ショートステイ730日、トワイライトステイ229日) 2 29年度利用延べ日数(ショートステイ717日、平日日帰りステイ108回、トワイライトステイ218日) 3 30年度利用延べ日数(ショートステイ750日、平日日帰りステイ78回、トワイライトステイ213日)</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も保護者の養育支援や児童の健全育成が図られる環境を確保するため、これまでの制度を継続して維持する。</p> <p>その他財源の諸収入は、子育て短期支援事業利用者負担金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI]ショートステイ延べ日数	106%	100%	107%		
	2	[KPI]トワイライトステイ延べ日数	229%	101%	107%		
	3	[KPI]平日日帰りステイ延べ日数			78%		

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	支援が必要な保護者に対して、ほぼ目標値どおりの取り組みを進めることができた。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	保護者の疾病等で家庭における児童の養育が、一時的に困難となった場合に短期間預かることで、児童及びその家庭の生活を支援することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>保護者の養育支援や児童の健全育成が図られる環境を確保するため、今後も制度を継続して維持する。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	005900	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	放課後児童対策事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成3年度 ~ 全期	
	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	児童福祉法、鳥取市放課後児童健全育成支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	
	1201	結婚・出産・子育て支援				
目標の 種別	平成28年度		令和2年度		事業分類区分	
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%			ソフト(義務)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%		運営方法	直営
	待機児童の数		0人		会計区分	一般会計
予算	予算事業名	放課後児童対策事業費		予算事業コード	01-03-02-01-10-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校児童・保護者
意図 (どのような状態にするために)	昼間保護者が就労のため家にいない小学校児童を授業の終了後預かり、適切な遊び及び生活の場を与えることで児童の健全育成を図る。
手段 (どうするのか)	小学校児童を学校の余裕教室や専用施設等で預かり、遊びや集団生活の場を提供する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		放課後児童クラブの設置・運営 保護者会等に運営委託	放課後児童クラブの設置・運営 保護者会等に運営委託	放課後児童クラブの設置・運営 保護者会等に運営委託	放課後児童クラブの設置・運営 保護者会等に運営委託	放課後児童クラブの設置・運営 保護者会等に運営委託
年度別実績	放課後児童クラブ設置54クラブ 保護者会等に委託し運営	放課後児童クラブ設置56クラブ 保護者会等に委託し運営	放課後児童クラブ設置62クラブ 保護者会等に委託し運営			
	事業費	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
区分	事業費(A+B)	415,481	506,310	432,235	0	0
直接経費 A	国・県	249,411	282,592	266,349	0	0
直接経費の財源内訳	地方債	31,600	50,100	0	0	0
	その他	3	3	3	0	0
	一般財源	120,029	158,977	151,397	0	0
人件費 B		14,438	14,638	14,486	0	0
職員数の内訳	正規職員	2.00	2.00	2.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	(KPI)児童クラブ設置数	箇所	目標	50
			実績	54	56	62	0	0
	(指標の説明) 児童クラブの設置数。							
2	児童クラブ利用者数	人	目標	2321	2534	2767	2884	3144
			実績	2288	2428	2682	0	0
	(指標の説明) 児童クラブの入級児童数							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】学務係 0857-30-8411</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P236(教008)</p> <p>【事業の概要】 全ての放課後児童クラブを委託方式とし、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、遊び及び生活の支援を行い、児童の心身共に健全な育成を図る。</p> <p>【事業の成果】 平成28年度：54クラブ、2,288人入級 401,043千円 平成29年度：56クラブ、2,428人入級 491,672千円 平成30年度：62クラブ、2,682人入級 417,749千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 上級生の入級を含め、放課後児童クラブへの入級希望児童数は増加傾向にあり、既存クラブの分割等が必要となることから、開設場所の確保が急務である。 また、放課後児童クラブ支援員等の確保も課題であることから、処遇改善等の取組が必要である。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI] 児童クラブ設置数	108%	106%	113%		
	2	児童クラブ利用者数	99%	96%	97%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>高学年を含めた授業終了後の児童預かり要望は依然多く、適切な遊び及び生活の場を与える放課後児童クラブの役割は大きい。今後入級児童の増加に伴う開設場所確保は急務であり、適宜、小学校、保護者会等と分割・拡充協議を行うことで、事業を継続していく必要がある。また、保護者会等の負担の増加するクラブについて、運営形態を検討する。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	006000	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	保育所緊急整備事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	保育所緊急整備事業費補助金			予算事業コード	01-03-02-03-03-16

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認定こども園を開設する学校法人、保育園等の改築を行う民間法人
意図 (どのような状態にするために)	保育園、認定こども園、小規模保育事業所等の開設による園児受け入れ体制を整備し、待機児童対策を推進する
手段 (どうするのか)	整備費の一部補助

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画	民間法人の実施する 保育所等整備支援	民間法人の実施する 保育所等整備支援	民間法人の実施する 保育所等整備支援	民間法人の実施する 保育所等整備支援	民間法人の実施する 保育所等整備支援	
	年度別実績	民間法人の実施する 保育所等整備支援(補助金交付):2園	民間法人の実施する 保育所等整備支援(補助金交付):5園	民間法人の実施する 保育所等整備支援(補助金交付):2園			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	57,243	216,287	653,632	0	0	
	直接経費 A	51,468	210,432	647,838	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	45,750	185,537	545,101	0	0
		地方債	0	0	74,800	0	0
		その他	0	0	377	0	0
		一般財源	5,718	24,895	27,560	0	0
人件費 B	5,775	5,855	5,794	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.80	0.80	0.80	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	(KPI)地域型保育事業所数(5か年累計)	園	目標	2	4	6	11	0
		実績		4	8	11	0	0	
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。目標値は累計								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理企画係 0857-30-8236</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初・P92(健031) 9月補正・P10(健005)</p> <p>【事業の概要】 近年の保育需要の増大により保育ニーズの低年齢化が進むなか、保育園の収容力不足の解消や幼保連携の推進を図るため、対応施設の整備が必要となっており、民間法人が計画している施設整備等に対する助成を行い、待機児童対策及び保育環境の向上に資する。</p> <p>【事業の成果】 平成28年度 3園 37,941千円 平成29年度 6園 193,747千円 平成30年度 2園 646,344千円 (学校法人東部学園、 株式会社まなびや園)</p> <p>【今後の課題・方向性】 保育の必要量を勘案しながら、園児の受け入れ体制の整備と待機児童対策として継続実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI] 地域型保育事業所数(5か年累計)	200%	200%	183%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	順調
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	5か年目標としていた地域型保育事業所数11園を達成

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	保育の必要量を勘案しながら、園児の受け入れ体制の整備と待機児童対策として継続実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	006100	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て支援センター事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	まちづくりの目標		事業期間	全期
	02	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		根拠法令、 根拠計画等	地域子育て支援センター実施要綱
	1201	安心して子どもを産み育てられるまちづくり			
目標の 種別	平成28年度		令和2年度		事業分類区分 ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%		
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		90%		
	待機児童の数		0人		
予算事業名	子育て支援センター運営委託費		会計区分	一般会計	
予算事業コード	01-03-02-04-03-01				

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	未就学児及びその保護者
意図 (どのような状態 にするために)	地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。
手段 (どうするのか)	私立子育て支援センター(こぼと)の運営

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画	こぼと子育て支援センターの運営	こぼと子育て支援センターの運営	こぼと子育て支援センターの運営	こぼと子育て支援センターの運営	こぼと子育て支援センターの運営	
	年度別実績	こぼと子育て支援センターの運営 センター利用者数:延5,164人(保護者+子ども)	こぼと子育て支援センターの運営 センター利用者数:延2,463人(保護者+子ども)	こぼと子育て支援センターの運営 センター利用者数:延1,927人(保護者+子ども)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	8,741	9,267	9,252	0	0	
	直接経費 A	7,297	7,803	7,803	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,864	5,202	5,202	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,433	2,601	2,601	0	0	
人件費 B	1,444	1,464	1,449	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	延べ利用保護者数	人	目標	2000	2000	2000	2000	2000	
				実績	2271	1010	976	0	0	
	(指標の説明) 支援対象は保護者であるため、指標として保護者数を設定									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】指導係 0857-30-8237</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【事業の経過及び背景】子どもが保育園等に通っていない、就学前の子どもがいる家庭に対する育児支援が求められる。</p> <p>【事業の目的及び効果】地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、未就園家庭の集い、支援の場として母子生活支援施設内に支援センターを設置し、地域の子育て家庭に対する育児支援を行うもの。</p> <p>【事業の内容・実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 育児不安等についての相談、支援の実施 地域の保育資源の情報提供 子育て親子の交流の場の提供と保護者間等の交流の促進 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 <p>こばと子育て支援センター 利用人数 28年度 5,164人、29年度 2,463人 30年度1,927人</p> <p>【今後の取り組み】子育て支援に必要な事業であり、継続して取り組む。</p> <p>地域子ども子育て支援事業(補助率:国3分の1、県3分の1)</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	延べ利用保護者数	114%	51%	49%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	順調
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	駐車場の利用制限等により利用が減少したもの

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>子育て支援に必要な事業であり、継続して取り組むこととするが、立地条件等により来年度施設(委託先)変更予定としている。</small>				

事務事業評価シート

事務事業コード	006200	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	私立幼稚園就園奨励事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	補助金交付
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	私立幼稚園就園奨励費補助金		予算事業コード	01-09-01-04-01-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	私立幼稚園に就園させている保護者
意図 (どのような状態にするために)	私立幼稚園への就園を促進するため、保護者の経済的負担の軽減する。
手段 (どうするのか)	私立幼稚園の入園料・授業料の一部について、市民税所得割の区分に応じて減免する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画	補助金交付 対象幼稚園7園 対象人数650人	補助金交付 対象幼稚園7園 対象人数650人	補助金交付 対象幼稚園4園 対象人数350人	補助金交付 対象幼稚園3園 対象人数300人	補助金交付 対象幼稚園 対象人数
年度別実績	補助金交付 対象幼稚園7園 対象人数635人	補助金交付 対象幼稚園7園 対象人数637人	補助金交付 対象幼稚園4園 対象人数315人				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	64,845	66,027	33,230	0	0	
	直接経費 A	62,679	63,831	31,057	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	19,198	20,268	10,351	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	43,481	43,563	20,706	0	0		
人件費 B	2,166	2,196	2,173	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	交付人数	人	目標	650
	(指標の説明)		実績	635	637	315	0	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】保育係 0857-30-8238</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P95(健038)</p> <p>【事業の概要】 私立幼稚園への就園を促進するため、保護者の経済的負担の軽減する補助制度を設けている。保護者の経済的負担を軽減することで、幼稚園入園を促し、子どもが幼稚園での集団生活を体験することによる社会性の発達等に資する。 私立幼稚園の入園料、保育料の一部について、市民税所得割の区分に応じて減免する幼稚園に対し補助金を交付する。</p> <p>【事業の成果】 平成28年度 62,679千円 対象者635人 平成29年度 63,831千円 対象者637人 平成30年度 31,057千円 対象者315人</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業は、令和元年10月から始まる幼児教育無償化に伴い9月で廃止となり、令和元年度で終了する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	交付人数	98%	98%	90%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	順調
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	目標値を下回るものの、対象者すべてには交付を行った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>本事業は、令和元年10月から始まる幼児教育無償化に伴い9月で廃止となり、令和元年度で終了する。</small>				

事務事業評価シート

事務事業コード	006300	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	私立幼稚園第3子以降保育料無償化事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期	
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、根拠計画等	私立幼稚園第3子保育料軽減子育て支援事業補助金交付要綱	
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度		
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	事業分類区分	ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法	補助金交付
	待機児童の数		0人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	私立幼稚園第3子以降保育料無償化事業補助金		予算事業コード	01-09-01-04-03-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	私立幼稚園
意図 (どのような状態にするために)	私立幼稚園に通園する多子世帯の経済的負担の軽減及び子育てしやすい環境づくりを促進する。
手段 (どうするのか)	第3子以降の児童に対し、保育料を無償化するため補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画	補助金交付 ・補助対象幼稚園7園 ・補助対象園児数70人	補助金交付 ・補助対象幼稚園7園 ・補助対象園児数70人	補助金交付 ・補助対象幼稚園4園 ・補助対象園児数40人	補助金交付 ・補助対象幼稚園3園 ・補助対象園児数30人	補助金交付 ・補助対象幼稚園 ・補助対象園児数
年度別実績	補助金交付 ・補助対象幼稚園7園 ・補助対象園児数74人	補助金交付 ・補助対象幼稚園7園 ・補助対象園児数83人	補助金交付 ・補助対象幼稚園4園 ・補助対象園児数36人				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	9,272	9,615	5,675	0	0	
	直接経費 A	7,106	7,419	3,502	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,552	3,709	929	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,554	3,710	2,573	0	0	
人件費 B	2,166	2,196	2,173	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	幼稚園数	園	目標 7	7
	(指標の説明) 私立幼稚園			実績 7	7	4	0	0
2				目標 0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績 0	0	0	0	0
3				目標 0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績 0	0	0	0	0

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】保育係 0857-30-8238</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P96(健039)</p> <p>【事業の概要】 多子世帯の幼稚園保育料を軽減することにより、経済的負担の軽減及び子育てしやすい環境づくりを促進する。保護者が幼稚園に支払う保育料から「同時在園保育料軽減」及び「就園奨励費補助金」を控除した額(補助対象経費)を交付する。</p> <p>【事業の成果】 平成28年度 7,106千円 対象者 74人 平成29年度 7,419千円 対象者 83人 平成30年度 3,502千円 対象者 36人</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業は、令和元年10月から始まる幼児教育無償化に伴い9月で廃止となり、令和元年度で終了する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	幼稚園数	100%	100%	100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	順調
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	順調

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>本事業は、令和元年10月から始まる幼児教育無償化に伴い9月で廃止となり、令和元年度で終了する。</p>				

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】発達支援係 0857-20-3204</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要の目次：当初予算・P119(健085)</p> <p>【事業概要】 在宅の発達に困難感を抱える児童の生活支援のため、身近な地域において療育指導を受け、相談できるよう療育環境を構築し、児童の発達支援の向上・充実に努めるもの。</p> <p>【事業の成果】 訪問療育指導：28年度31件 29年度48件 30年度57件 外来療育指導：28年度35件 29年度38件 30年度44件 施設支援指導：28年度48件 29年度76件 30年度72件</p> <p>【今後の課題・方向性】 障がい者支援策充実のため、継続して実施するものである。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	訪問療育等指導件数	62%	96%	114%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>前年から実績が伸びていることから、発達支援を必要とされる児童及び保護者のニーズは高いものと考え、今後もより一層療育の充実に努めていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	006500	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	養育支援訪問事業		所属名	健康こども部 こども家庭相談センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	1201	結婚・出産・子育て支援				
施策の目標	目標の種類別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「子育てを楽しむ」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	外部委託
	「子育てを楽しむ」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	養育支援訪問事業費			予算事業コード	01-03-02-01-60-02

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	子育て不安が強い妊婦や、若年での出産や養育者が産後うつ状態であったり子育てに対して強い不安や孤立感等を抱えているなど、養育の支援が特に必要と認められる家庭の児童及び養育者
意図 (どのような状態にするために)	十分な養育が行なわれるように支援する
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> 産褥期の母子に対する育児指導や家事援助 未熟児や多胎児等に対する育児指導や家事援助 養育者に対する身体的・精神的不調状態に対する相談・指導 若年の養育者に対する育児相談・指導 児童が施設等を退所後にアフターケアを必要とする家庭等に対する養育相談・支援 妊婦や養育者及び児童の心理的安定を図る為のカウンセリング

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		CAPTAに家庭訪問支援員の派遣委託 非常勤の心理相談員によるカウンセリング	CAPTAに家庭訪問支援員の派遣委託 非常勤の心理相談員によるカウンセリング	CAPTAに家庭訪問支援員の派遣委託 非常勤の心理相談員によるカウンセリング	CAPTAに家庭訪問支援員の派遣委託 非常勤の心理相談員によるカウンセリング	CAPTAに家庭訪問支援員の派遣委託 非常勤の心理相談員によるカウンセリング
事業費	年度別実績	CAPTA支援員による家庭訪問 11件、延べ475回 心理相談員によるカウンセリング 24人、延べ176回	CAPTA支援員による家庭訪問 10件、延べ357回 心理相談員によるカウンセリング 24人、延べ178回	CAPTA支援員による家庭訪問 10件、延べ259回 心理相談員によるカウンセリング 19人、延べ96回		
		区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
事業費(A+B)		6,980	6,196	5,180	0	0
直接経費 A		4,814	4,336	3,007	0	0
直接経費の財源内訳	国・県	3,532	2,428	2,716	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,282	1,908	291	0	0
	人件費 B	2,166	1,860	2,173	0	0
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.20	0.30	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	訪問支援員数	人	目標	5
			実績	5	5	5	0	0
	(指標の説明) 家庭訪問を行う支援員数の雇用数							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 こども家庭相談センター 0857-20-0122</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P117(健081)</p> <p>【事業の概要】 1 養育困難な状態にある養育家庭や児童養護施設等退所後の児童の家庭など特に支援を必要とする家庭に対し、支援員の家庭訪問による養育相談・支援をNPO法人子どもの虐待防止ネットワーク鳥取(CAPTA)に委託し実施。 2 妊婦や出産後間もない養育者及び、養育が十分に行えていない養育者や児童養護施設等から児童の家庭復帰が予定されている養育者などに対し、雇上げ臨床心理士によるカウンセリングを週2回実施。</p> <p>【事業の成果】 事業の導入により、養育者による適切な養育が行われている。</p> <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">訪問支援回数(延べ)</td> <td style="text-align: center;">カウンセリング件数(述べ)</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">475回</td> <td style="text-align: center;">176件</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: center;">357回</td> <td style="text-align: center;">178件</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: center;">259回</td> <td style="text-align: center;">96件</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 核家族化及び、地域とのつながりの希薄など、家族での養育力が低下する傾向にあり、今後も安心して適切な養育が行われるよう支援していく必要がある。</p>		訪問支援回数(延べ)	カウンセリング件数(述べ)	平成28年度	475回	176件	平成29年度	357回	178件	平成30年度	259回	96件
		訪問支援回数(延べ)	カウンセリング件数(述べ)										
平成28年度	475回	176件											
平成29年度	357回	178件											
平成30年度	259回	96件											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	訪問支援員数	100%	100%	100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	妊婦や出産後間もない養育者及び、養育が十分に行えていない養育者等に対して、育児相談やカウンセリングを行った。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	若年の養育者、アフターケアを必要とする家庭への育児相談や指導、妊婦や養育者及び児童の心理的安定を図るためのカウンセリング等の取り組みを行った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>養育者による家庭での養育が、適切かつ十分に行われるよう、家庭内での継続的な支援や、カウンセリングによる専門的な助言により、養育者の養育力を確保していくために必要な事業である。今後も支援が必要な世帯への積極的な事業導入を行っていく。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	033000	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	3歳児健康診査事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	～
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	3歳児健康診査費		予算事業コード	01-04-01-03-08-01	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	該当年度に3歳になる児
意図 (どのような状態にするために)	視覚・聴覚・運動・心身の成長・発達の確認や疾病の早期発見に努める。
手段 (どうするのか)	問診、身体計測、小児科医・歯科医の診察、ブラッシング指導、栄養相談、視力検査、聴力検査、尿検査、保健指導、発達相談、育児相談といった内容の健康診査を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画			尿検査 視力検査・聴力検査 身体計測・小児科医 と歯科医の診察 ブラッシング指導 育児相談・発達相談 栄養指導・保健指導	尿検査 視力検査・聴力検査 身体計測・小児科医 と歯科医の診察 ブラッシング指導 育児相談・発達相談 栄養指導・保健指導	尿検査 視力検査・聴力検査 身体計測・小児科医 と歯科医の診察 ブラッシング指導 育児相談・発達相談 栄養指導・保健指導
年度別実績				受診者数(1603人) 受診率(98.1%)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	14,513	0	0	
	直接経費 A	0	0	7,270	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	7,270	0	0		
人件費 B	0	0	7,243	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	3歳児健診受診率	%	目標	0
			実績	0	0	98.1	0	0
	(指標の説明)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【事業の概要】 幼児の健康・発達の個人的差異が明らかになる3歳児に対して健康診査を実施することにより、視覚・聴覚・運動・心身の成長・発達の確認や疾病の早期発見に努める。また、虫歯の予防や育児に関する相談・助言を行い、幼児の健康の保持増進と育児支援を図る。</p> <p>【事業の成果】 1 問診、尿検査、視力検査、聴力検査、身体計測、小児科医師・歯科医師の診察、ブラッシング指導、保健指導、栄養相談、育児相談、発達相談を実施。 2 平成30年度より、視力検査器によるスクリーニング検査を受診者全員に実施。これにより健診の精度向上が図られ必要に応じた専門医への紹介ができています。 3</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">決算額</td> <td style="text-align: center;">受診者数(受診率)</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: right;">7,035,906円</td> <td style="text-align: right;">1,615人(96.5%)</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: right;">8,162,638円</td> <td style="text-align: right;">1,637人(98.1%)</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: right;">7,270,074円</td> <td style="text-align: right;">1,603人(98.1%)</td> </tr> </table> <p>(委託先) 精密検査：実施各医療機関 臨床検査技師派遣：公益財団法人鳥取県保健事業団 医師等送迎業務：鳥取ハイヤー協同組合</p> <p>【今後の課題・方向性】 子どもの成長・発達を確認するとともに、子育て支援としても重要な役割を担っており、今後も継続実施する。</p>		決算額	受診者数(受診率)	平成28年度	7,035,906円	1,615人(96.5%)	平成29年度	8,162,638円	1,637人(98.1%)	平成30年度	7,270,074円	1,603人(98.1%)
		決算額	受診者数(受診率)										
平成28年度	7,035,906円	1,615人(96.5%)											
平成29年度	8,162,638円	1,637人(98.1%)											
平成30年度	7,270,074円	1,603人(98.1%)											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1 3歳児健診受診率			100%		
	2					
	3					

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>母子保健法に基づいて実施しており、子どもの成長・発達を確認するとともに、子育て支援としても重要な役割を担っており、今後も継続実施する。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	033100	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て世代包括支援センター運営事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	～
	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	
	1201	結婚・出産・子育て支援		
目標の 種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	0%	90%	運営方法	直営
	0%	88%	会計区分	一般会計
	0人	0人	予算事業コード	01-04-01-03-35-01
予算	予算事業名	子育て世代包括支援センター運営費		

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	全妊婦
意図 (どのような状態 にするために)	妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行う。
手段 (どうするのか)	全妊婦相談の実施。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画			全妊婦相談の実施	全妊婦相談の実施	全妊婦相談の実施
年度別実績				妊婦相談実施率 (99.7%)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	12,392	0	0	
	直接経費 A	0	0	3,700	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	2,205	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	1,495	0	0	
人件費 B	0	0	8,692	0	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.00	0.00	1.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	妊婦相談実施率	%	目標	0
			実績	0	0	99.7	0	0
	(指標の説明)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P98(健036)12月補正・P</p> <p>【事業の概要】 地域のつながりの希薄化等により、妊産婦・母親の孤立感や負担感が高まっている中、妊娠期から子育て期までの支援や関係機関が連携し切れ目のない支援を実施することが重要となっている。 「子育て世代包括支援センター」に専任の助産師を配置し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 全妊婦相談を実施し、妊娠期からの情報提供及び必要な家庭へは適切なサービス提供に結びつくよう関係機関と連携し支援を実施した。 平成29年度 決算額 2,802,453円 妊娠届出数1,516人 平成30年度 決算額 3,700,011円 妊娠届出数1,378人</p> <p>【今後の課題・方向性】 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援が受けれているか評価していくことが必要。 妊娠期から子育て期までの支援や、関係機関が連携し切れ目のない支援が重要であるため継続して実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	妊婦相談実施率			100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でのどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 妊娠期から子育て期までの支援や、関係機関が連携し切れ目のない支援が重要であるため継続して実施する。		

事務事業評価シート

事務事業コード	033200	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	城北保育園整備事業		所属名	健康子ども部 子ども家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成30年度 ~ 平成31年度	
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、根拠計画等		
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度		
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	事業分類区分	建設、整備
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法	補助金交付
	待機児童の数		0人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	城北保育園整備事業費		予算事業コード	01-03-02-03-05-27	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	社会福祉法人さとに会
意図 (どのような状態にするために)	城北保育園の民営化に伴い、施設を新設する
手段 (どうするのか)	整備費の一部補助

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画			法人の実施する保育所等整備支援	法人の実施する保育所等整備支援	H31年度で事業完了予定
年度別実績				法人の実施する保育所等整備支援(補助金交付)1/2ヶ年目			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	122,256	0	0	
	直接経費 A	0	0	117,186	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	44,972	0	0
		地方債	0	0	68,500	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	3,714	0	0	
人件費 B	0	0	5,070	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.70	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	施設整備数	園	目標	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明) 民営化に伴い整備を行った施設数							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理企画係 0857-30-8236</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：6月補正・P22(健003)</p> <p>【事業の概要】 城北保育園は昭和48年に建設され老朽化が進んでおり、移転新築に伴い民設民営とし、保育環境の改善、定員の拡大、一時預かり事業、子育て支援センター機能を持たせることで、保育を必要としている家庭のみならず、在宅で子育てをしている家庭のニーズにも広く対応することを目指す。</p> <p>【事業の成果】 平成30年度 民営化に係る移管法人選定審査委員会 施設整備の補助金交付(1/2ヶ年目) 117,186千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成31年度 施設整備の補助金交付(2/2ヶ年目) 合同保育の実施 令和2年度 民間法人移管予定</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	施設整備数					
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	順調
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	順調

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	令和2年度の民間法人移管にむけ、遅延のないよう事業者と連携を取りながら進めていく。				

事務事業評価シート

事務事業コード	033300	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	こども・子育て支援制度事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	子ども子育て支援法
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	こども・子育て支援制度事務費			予算事業コード	01-03-02-01-99-04

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	すべての子ども・子育て家庭
意図 (どのような状態にするために)	幼児教育、保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進する
手段 (どうするのか)	幼児教育、保育、地域の子ども・子育て支援の質・量の拡充を図る

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画			鳥取市社会福祉審議会 会児童福祉専門分科会の開催 事務補助員の配置	鳥取市社会福祉審議会 会児童福祉専門分科会の開催 事務補助員の配置 第2期子ども・子育て支援事業計画策定 幼児教育・保育無償化に係るシステム改修等	鳥取市社会福祉審議会 会児童福祉専門分科会の開催 事務補助員の配置	
	年度別実績			2回開催 1名配置			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	5,131	0	0	
	直接経費 A	0	0	2,860	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	2,860	0	0		
人件費 B	0	0	2,271	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		第2期子ども・子育て支援事業計画の策定	回	目標	0	0	0	1	0	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理企画係 0857-30-8236</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【事業の概要】 すべての子ども・子育て家庭を対象に、幼児教育、保育、地域の子ども・子育て支援の質・量の拡充を図る。</p> <p>【事業の成果】 <平成30年度> 鳥取市社会福祉審議会児童福祉専門分科会の開催 2回 事務補助員の配置 1名</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成31年度に第2期子ども・子育て支援事業計画(平成32~36年度)の策定を予定しており、保育ニーズに基づいた保育サービス需要見込量やそれに対応する施設や保育サービス確保策などを盛り込んでいきたいと考えている。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	第2期子ども・子育て支援事業計画の策定					
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>幼児教育・保育の無償化など子ども・子育て支援施策はめまぐるしく動いており、それらの動向や本市における課題なども踏まえた上で、必要とされる子ども・子育て支援の充実を今後も図っていきいたいと考えている。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	033400	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	児童発達支援事業		所属名	健康こども部 こども発達支援センター

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成24年度 ~ 全期
	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
1201	結婚・出産・子育て支援				
目標の 施策の 目標	目標の種類別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)	0%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)	0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数	0人	0人		
予算	予算事業名	児童発達支援事業費		予算事業コード	01-03-02-01-59-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	発達上の困難を抱える乳幼児から満18歳までの児童及びその家族
意図 (どのような状態 にするために)	発達上の困難を抱える児童の早期発見・早期療育等の適切な相談支援として、児童の成長段階に応じた一貫した支援及び家族支援を行うとともに、広く発達障がいに関する理解、地域への普及啓発の機会を提供する。
手段 (どうするのか)	専任の発達支援員及び心理相談員等による児童発達相談、発達支援保育指導委員会及び巡回指導、こどもの発達支援ネットワーク推進会議、研修会実施。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度																																															
		児童発達相談 発達支援保育指導委員会 発達支援保育指導委員会巡回指導 こどもの発達支援ネットワーク推進会議 研修会	児童発達相談 発達支援保育指導委員会 発達支援保育指導委員会巡回指導 こどもの発達支援ネットワーク推進会議 研修会	児童発達相談 発達支援保育指導委員会 発達支援保育指導委員会巡回指導 こどもの発達支援ネットワーク推進会議 研修会	児童発達相談 発達支援保育指導委員会 発達支援保育指導委員会巡回指導 こどもの発達支援ネットワーク推進会議 研修会	児童発達相談 発達支援保育指導委員会 発達支援保育指導委員会巡回指導 こどもの発達支援ネットワーク推進会議 研修会	児童発達相談 発達支援保育指導委員会 発達支援保育指導委員会巡回指導 こどもの発達支援ネットワーク推進会議 研修会																																														
事業費	年度別実績	児童発達相談 :1,673件 発達支援保育指導委員会:対象児数161人 発達支援保育指導委員会巡回指導 :延べ78日 ネットワーク会議: 年1回 研修会:4回	児童発達相談 :1,792件 発達支援保育指導委員会:対象児数156人 発達支援保育指導委員会巡回指導 :延べ88日 ネットワーク会議: 年1回 研修会:4回	児童発達相談 :1,852件 発達支援保育指導委員会:対象児数126人 発達支援保育指導委員会巡回指導 :延べ70日 ネットワーク会議: 年1回 研修会:4回																																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>決算額(千円)</th> <th>決算額(千円)</th> <th>決算額(千円)</th> <th>予算額(千円)</th> <th>計画額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費(A+B)</td> <td>34,876</td> <td>42,541</td> <td>51,471</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>直接経費 A</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9,118</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国・県</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,966</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>7,152</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費 B</td> <td>34,876</td> <td>42,541</td> <td>42,353</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	事業費(A+B)	34,876	42,541	51,471	0	0	直接経費 A	0	0	9,118	0	0	国・県	0	0	1,966	0	0	地方債	0	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	0	一般財源	0	0	7,152	0	0	人件費 B	34,876	42,541	42,353	0	0			
区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)																																																
事業費(A+B)	34,876	42,541	51,471	0	0																																																
直接経費 A	0	0	9,118	0	0																																																
国・県	0	0	1,966	0	0																																																
地方債	0	0	0	0	0																																																
その他	0	0	0	0	0																																																
一般財源	0	0	7,152	0	0																																																
人件費 B	34,876	42,541	42,353	0	0																																																
職員数の 内訳	正規職員	4.00	5.00	5.00	0.00	0.00																																															
	嘱託職員	3.00	3.00	3.00	0.00	0.00																																															
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00																																															

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	児童発達相談者数	人	目標 1600 実績 1673	1600 1792
2	(指標の説明)	目標		0	0	0	0	0
		実績		0	0	0	0	0
3	(指標の説明)	目標		0	0	0	0	0
		実績		0	0	0	0	0

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合わせ先】発達支援係 0857-20-3204</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 1 発達上の困難を抱える児童の早期発見・早期療育等の適切な相談支援として、児童の成長段階に応じた一貫した支援及び家族支援を行う。 2 広く発達障がいに関する理解、地域への普及啓発の機会を提供する。</p> <p>【事業の成果】 児童発達相談：28年度 1,673件 29年度 1,792件 30年度 1,852件 発達支援保育指導委員会判定会議 年1回 発達支援保育指導委員会巡回指導 こどもの発達支援ネットワーク推進会議 年1回 研修会の開催：28年度4回（関係者向け3回・市民向け1回） 29年度4回（関係者向け3回・市民向け1回） 30年度4回（関係者向け3回・市民向け1回）</p> <p>【今後の課題・方向性】 発達支援の充実のため、継続して実施するものである。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	児童発達相談者数	105%	112%	93%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	H30より目標値をあげて相談が必要な方への相談の充実を目指したが、目標値は達成できなかった。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>発達上の困難を抱え、特別な支援を必要とする子どもとその家族へ、福祉と教育が一体となって切れ目のない支援に取り組む「こども発達支援センター」の設置により、支援を充実することができた。このことから発達相談や保育訪問相談などニーズの高まりもあって実績も増加傾向にある。今後もより一層支援の充実を図っていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	033500	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	子どもの貧困対策推進事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	子どもの貧困対策推進事業費			予算事業コード	01-03-02-01-64-03

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市の未来を担う子ども達
意図 (どのような状態にするために)	家庭の経済状況に関わらず、自分らしく豊かで幸せな生き方を見出していく力を育む
手段 (どうするのか)	教育や学びを保障し、健やかに育ち成長できる環境を整える。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
		年度別計画			子どもの貧困対策推進庁内連絡会の開催 子どもの貧困対策地域協議会の開催 推進コーディネーターによる小学校・家庭等訪問活動	子どもの貧困対策推進庁内連絡会の開催 子どもの貧困対策地域協議会の開催 推進コーディネーターによる小学校・家庭等訪問活動
年度別実績			2回開催 1回開催 延べ40件訪問			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	0	0	4,744	0	0
	直接経費 A	0	0	2,698	0	0
	国・県	0	0	1,348	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	1,350	0	0	
人件費 B	0	0	2,046	0	0	
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	子どもの貧困対策地域協議会の開催	回	目標	0
			実績	0	0	1	0	0
	(指標の説明) この協議会は、支援の必要な家庭の様子や困り感など実体把握に有効と考える							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理企画係 0857-30-8236</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【事業の概要】 子どもの貧困に対する「教育の支援」、「生活の支援」、「保護者に対する就労の支援」、「経済的支援」を行っている関係各部署と関係機関等が連携して、子どもの貧困対策の総合的かつ計画的な推進を図る</p> <p>【事業の成果】 <平成30年度> 子どもの貧困対策推進庁内連絡会 2回開催 子どもの貧困対策地域協議会 1回開催 推進コーディネーターによる小学校・家庭等訪問活動 延べ40件</p> <p>【今後の課題・方向性】 支援が必要な家庭をいかに把握していくかなど関係機関等と連携を図りながら進めていくことが必要と考える。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	子どもの貧困対策地域協議会の開催			100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	評価内容		
	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>成果が見えにくい事業だが、関係機関等と連携を図りながら継続して取り組むことが必要と考える。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	033600	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	子どもの居場所づくり事業		所属名	総務部人権政策局 人権推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	子どもの居場所づくり推進事業費			予算事業コード	01-03-02-01-64-02

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内でこども食堂を運営している団体
意図 (どのような状態にするために)	こども食堂を安定的・継続的に運営してもらうため
手段 (どうするのか)	立上支援及び運営に対する補助を行い、各中学校区に1箇所以上を開設し実施してもらう。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度 こども食堂の開設数 開設中学校区数	平成31年度 こども食堂の開設数 開設中学校区数	令和2年度 こども食堂の開設数 開設中学校区数	
	年度別実績			17箇所 9中学校区			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	8,977	0	0	
	直接経費 A	0	0	7,528	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	3,935	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	3,593	0	0	
人件費 B	0	0	1,449	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	[KPI] 地域食堂(こども食堂)運営箇所数	単位	箇所	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
			実績			0	0	17	21	24		
	(指標の説明) こども食堂が運営されている箇所数。基準値は平成28年度未開設数。											
	2	地域食堂(こども食堂)開設中学校区数	単位	箇所	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
			実績			0	0	9	12	15		
	(指標の説明) こども食堂が運営されている中学校区数。基準値は平成28年度未開設数。											
3		単位		区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
		実績			0	0	0	0	0			
(指標の説明)												

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算</p> <p>【事業の概要】 補助金名：鳥取市子どもの居場所づくり補助金 目的：新たに取り組みを行う民間団体等の立ち上げをモデル的に支援し、市内での団体育成、取組を推進を図ることにより、児童福祉の向上に寄与することを目的として交付する。 内容：立ち上げおよび運営に対する経費の10分10を補助。上限2,000千円 補助対象者：目的を公正、中立かつ効果的に実施することのできる市内で活動する民間団体等</p> <p>【事業の成果】 新規に立ち上げたこども食堂 5箇所 立上支援活用団体 6団体6食堂(前年度中途立上団体を含む) 1,046千円 運営補助活用団体 12団体13食堂(立上支援活用団体含む) 6,482千円 補助金未利用団体 4団体4食堂</p> <p>【今後の課題・方向性】 子どもの未来応援計画に基づき、令和3年度末までには、関係機関と連携を図りながら各中学校区に1箇所は開設できるように呼びかけを行う必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI] 地域食堂(こども食堂)運営箇所数			100%		
	2	地域食堂(こども食堂)開設中学校区数			100%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%~150%未満：上回る」、「80%~100%以下：目標どおり」、「50%~80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>今後も子どもの居場所づくりに取り組む民間団体等の立ち上げ・運営を支援し、団体の育成・取組の推進を図る。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	033700	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地域食堂ネットワーク運営支援事業		所属名	総務部人権政策局 人権推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、根拠計画等	
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	
	待機児童の数		0人	0人	予算事業コード	
予算	予算事業名					

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市地域食堂ネットワーク
意図 (どのような状態にするために)	地域共生社会の実現のため、こども食堂運営者とそれを支援する企業や団体で作られている地域食堂ネットワークを安定・継続的に運営できるように鳥取市として支援していく。
手段 (どうするのか)	事務局として運営および参加団体の加入促進

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画			事務局運営 参加団体加入促進	事務局運営 参加団体加入促進	事務局運営 参加団体加入促進
年度別実績				事務局運営 支援団体数20			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	3,622	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	
人件費 B	0	0	3,622	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	支援団体数	団体	目標 実績	0 0
	(指標の説明) 基準値はH29年度末の支援団体数							
2			目標 実績	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	(指標の説明)							
3			目標 実績	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 地域食堂ネットワークの事務局として運営支援</p> <p>【事業の成果】 地域食堂(こども食堂)を支援していただける法人や団体へ協力の呼びかけを行い、ネットワークに加入して継続的な協力を得られた。 支援団体のフードドライブ事業により、多くの市民が支援する形ができつつある。</p> <p>【今後の課題・方向性】 東部地区のこども食堂にも支援する形をつくり、事務局体制も検討する必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	支援団体数			100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>今後も地域食堂ネットワークを安定・継続的に運営できるよう支援していき、東部地区のこども食堂にもネットワークを拡げていけるよう検討していく。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	033800	重点施策	ひとづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	こども食堂への相談支援員派遣事業		所属名	総務部人権政策局 人権推進課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期	
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、根拠計画等		
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度		
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	事業分類区分	建設、整備
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法	直営
	待機児童の数		0人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	「地域食堂」相談支援員派遣事業費		予算事業コード	01-03-01-15-07-02	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地域食堂(こども食堂)を利用している子ども、保護者およびスタッフ
意図 (どのような状態にするために)	社会的課題を抱えている世帯等の相談内容は複雑化、多様化している中で、地域食堂(こども食堂)に専門相談員を派遣することで、子どもやその保護者等からのつばやき等を契機に世帯全体への包括支援につなげていく。
手段 (どうするのか)	専門相談員(カウンセラー、管理栄養士、社会福祉士、認定心理士、健康運動士等)を地域食堂(こども食堂)に派遣

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		年度別計画			専門相談員派遣200回(17箇所)	専門相談員派遣200回	専門相談員派遣200回
年度別実績				専門相談員派遣200回(17箇所)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	2,124	0	0	
	直接経費 A	0	0	1,400	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	700	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	700	0	0	
人件費 B	0	0	724	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	専門相談員派遣回数	回	目標	0
			実績	0	0	200	0	0
	(指標の説明)							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】中央人権福祉センター 0857-24-8241</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算上の経過】 予算事業別概要目次：6月補正</p> <p>【事業の概要】 専門相談員を地域食堂(こども食堂)へ派遣</p> <p>【事業の成果】 地域食堂(こども食堂)に専門家を継続的に派遣し、参加している子どもやその保護者ならびに運営しているスタッフからの相談を聞き取り対応している。 相談内容から関係機関と連携して継続的に関わりをもち、世帯支援を行っている。</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続して関わりを持ちながら関係機関とも連携し支援を続けていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	専門相談員派遣回数			100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>継続して子ども食堂の利用者からのつづやきを相談支援につなげられるよう支援を行っていく。</p>	